

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援事業所Core Lab

公表日 2025年3月1日

利用児童数

1

回収数

1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。				1		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1					
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				1		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1				
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1				
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名						公表日	年	月	日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		支援室の数や職員の人数を加味した配置になっております。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		全ての職員が常勤職員であり、適切に配慮しております。	状況に応じた柔軟な対応が継続できるよう適切な運営をしております。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		バリアフリーはまだだが、情報伝達や配慮はされている。製作物等の掲示は玄関のみで、その他は子供への刺激とならないよう配慮しております。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		毎日指定の時間に清掃をしております。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		基本的に個室の利用となっております。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3		支援提供前後にて、改善点や今後必要となる対策に向けた意見交換を行っております。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		会議を開催し、職員に共有・話し合いの時間を設けております。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		会議等で意見交換の場を設けております。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3		外部評価は行っておりませんが、業務改善に向けて日々取り組んでおります。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		必要に応じて外部研修の推奨をしております。				
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		HPにて公開しております。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3		アセスメントの日程を設定し、取り組んでおります。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		検討会の中で他職員の意見も取り入れております。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		個別支援計画書の内容を都度チェックすることを全職員が意識できております。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		行動観察や評価ツールを用いて確認しております。				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		アセスメントの日程を設定し、取り組んでおります。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		検討会の中で他職員の意見も取り入れております。				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		子どもの状況にあわせて都度プログラムを検討しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		3	個別→ペア→小集団の段階を作って支援しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		事前に担当を決定しmtgしております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		支援後、mtgにて共有と改善に向けた対策を検討しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		子どもの反応などを明確に記録しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		保護者様の理解も深まるよう、状態の詳細を可能な限りお伝えしております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3		全職員参加しております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3		要望があれば積極的に行います。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		お子様の状態に応じて連携を図っております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		必要に応じて連携を行っております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		3	状況に応じて連携しております	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		3	状況に応じて連携しております	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3		状況と保護者様のご希望に応じて情報提供しております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3		必要に応じて児童発達支援センターと連携しております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		3	お子様と保護者様の状況に応じて、連携を図り助言を都度いただいております。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		3	今後参加予定となります。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		今後必要に応じて活動を行います。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		3	支援後のFBにて保護者様とお話できる時間を設けております。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		ペアトレの名目での提供はしていませんが、ご家族向けの理解促進に向けた情報は行っております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		必要に応じて都度ご説明しております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3		保護者の話を傾聴し意向などを伺っております。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		目標を明確にしながら説明し合意を得ております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3		ご要望に応じて面談の機会を提供しております。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		体制整備と苦情があった場合は迅速に対応しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		情報発信は今後取り組む予定をしております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		ダブルチェックをするなど厳重に取り扱っております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		特性に合わせまた、職員間でも統一して配慮することを意識しております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3		今後外部講師を招いて参加いただくイベントを予定しております。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		HPにて公開しいつでも閲覧可能な状態とし、訓練もお子様に合わせた内容で定期的に行っております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		年2回、利用者も交えて避難訓練を行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		書面で確認しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		書面で確認しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		会社全体で安全計画を作成することが徹底されております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		お子様の様子をモニタールームで保護者が見ることができ、視覚的にも保護者へ共有できております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		都度報告し合い、防止策についても共有しております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		法人で虐待防止委員会が設置されており、研修も実施されております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3		身体拘束研修を行っており、必要に応じて検討しております。		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所Core Lab		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 4日		2025年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年 2月 4日		2025年 2月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様一人一人の状態に合わせられる柔軟性	お子様の状態によって環境設定や人員配置を行っていること	できることが増えていくお子様に合わせて、より合う教材を購入し就学期を見据えた支援を継続すること 清潔な環境の継続
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園や認定こども園、幼稚園など外部との交流が少ない。	開所から約1年経ったがまだ運営年数が浅いため、地域内の外部との関わりが弱い。	今後少しずつ外部との交流を増やしていきたい。交流の手段も検討していく。
2	事故や非常災害時などのイレギュラー対応。	利用者様へも緊急時の対応の共有が行き届いていないため、都度内容の案内が必要。	避難訓練が年2回実施されていることを徹底し、利用者様へ掲示物等で共有していく。また、職員へは避難訓練等の後、FBする時間をとり、緊急時に備えた対応を周知する。
3			